

急流河川における浸水想定区域検討の手引き

〔 参 考 資 料 〕

平成 15 年 9 月

国土交通省北陸地方整備局

はじめに

本書は、急流河川における破堤、氾濫等の水災による被害軽減を目的として、急流河川における危機管理のあり方、浸水想定検討の基本的な考え方、浸水想定情報の活用等について、「急流河川における浸水想定区域検討の手引き」の作成にあたり整理した事例及び検討例をとりまとめたものである。

目 次

1. 急流河川における危機管理のあり方	1
1.1 危機管理の必要性	1
1.2 急流河川における危機管理上の課題	1
1.3 急流河川における危機管理施策の展開	3
1.4 被害軽減方策	5
2. 急流河川における洗掘・側方侵食に対する安全評価方法（案）	12
2.1 堤防抵抗力評価の目的	12
2.2 安全評価方法	12
2.3 洗掘深の評価手順	13
2.4 側方侵食の評価手順	17
2.5 高水敷の側方侵食評価の1ランクアップ及びダウン	19
2.6 その他	20
2.7 河道内の安全評価	20
3. 急流河川における浸水想定検討	23
3.1 浸水想定区域検討の流れ	23
3.2 急流河川の洪水流、破堤特性	28
3.3 破堤・氾濫実績の整理例	45
3.4 メッシュ内の氾濫原情報のモデル化	54
3.5 氾濫シミュレーションの検討事例	58
4. 浸水想定情報の活用	72
4.1 洪水ハザードマップへの反映	72
4.2 地域防災計画への反映	74
4.3 浸水想定区域図等に対するヒアリング結果	78
4.4 浸水想定情報の活用例	82
5. 用語の説明	90